安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00025
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　　　　　担　当　者　：平　　博　司
電話番号　：03-5788-8695　　　　FAX 番号　：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　アニリン塩酸塩

製品名　　アニリン-$^{13}C_6$（塩酸塩）

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外

	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入： ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A‐2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 2 （血液）
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3 （気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 2 （血液 精巣 脾臓 ）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　飲み込むと有害
皮膚刺激、強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
血液の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による血液、精巣、脾臓の障害のおそれ

注意書き：
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
適切な個人用保護具を使用すること。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
ばく露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報
単一製品/混合物の区分‥ 単一の化合物
化学名 ……………… アニリン塩酸塩
別名 ………………… 塩酸アニリン
含有量 ……………… ９８．５％以上
化学式又は構造式 …… $C_6H_5NH_2$・ＨＣｌ
ＣＡＳ番号 ………… １４２－０４－１
国連分類番号 ……… ６．１（毒物）
国連番号 …………… １５４８

---

4. 応急措置
目に入った場合 ……… 直ちに清水で十分に洗い流し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 … 直ちに清水で十分に洗い流し、医師の診断を受ける。
吸入した場合 ……… 直ちに新鮮な空気の場所に移し、温かく保温し、酸素吸入を行い、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 ……… 直ちに新鮮な空気の場所に移し、温かく保温し、酸素吸入を行い、速やかに医師の診断を受ける。

---

5. 火災時の措置
消火剤 ……………… 水、霧状の水、粉末、二酸化炭素
消火方法 …………… 粉末、二酸化炭素、大量の水で一挙に消火する。

---

6. 漏出時の措置
…………………… 防水シート等で覆い、飛散拡大防止を図る。容器に回収する。

---

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い ……………… 火気注意。皮膚からも吸収されるので、保護手袋等を必要に応じて着用する。酸及び酸化剤との接触に注意する。
保管 ………………… 火気注意。冷暗所に密栓して保管。酸及び酸化剤と別にして保管

する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 ・・・・・・・・・・・・・・ データなし。

許容濃度 ・・・・・・・・・・・・・・ 日本産業衛生学会（１９９１年度版）:
アニリン（皮）１ｐｐｍ（３．８ ｍｇ／ｍ３）
ＡＣＧＩＨ（１９９１～９２年度版）:
ＴＷＡ（８時間）アニリン及びその同族体（皮）
２ｐｐｍ（７．６ｍｇ／ｍ３）

保護具 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

設備対策 ・・・・・・・・・・・・・・ 必要に応じて局所排気装置、全体換気装置の設置を行う。

---

9. 物理及び化学的性質

外観等 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 白色～ほとんど白色の結晶又は結晶性粉末で、光や空気中でしだいに着色する。

沸点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４５℃（アニリンと塩化水素に分解する。）

融点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９８℃

比重 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １．２２２

溶解度 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 水、エタノールに可溶。エーテルに不溶。

引火点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ １９３℃

揮発性 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 昇華性がある。

可燃性 ・・・・・・・・・・・・・・・・ あり。

---

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 加熱又は酸及び酸性ガスに触れると分解し、アニリンと Cl^- を含む強い毒性のあるガスを発する。また酸化剤と激しく反応する。

---

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・・ 吸入した場合、頭痛、めまい、吐き気、チアノーゼを起こす。大量に吸入した場合は、昏睡、意識不明となる。
ＬＤ５０　（アニリン）３００ｍｇ／ｋｇ（経口犬）
ＬＤ５０　（アニリン）４４０ｍｇ／ｋｇ（経口ラット）
ＬＣＬ０　（アニリン）２５０ｐｐｍ･４ｈｒ（吸入ラット）
ＬＤ５０　（アニリン）１７５ｐｐｍ･７ｈｒ（吸入マウス）

刺激性 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 皮膚に触れれば中程度の刺激を呈する。眼に入れば強い刺激性を

示す。

皮膚腐食性 ………… データなし。

感作性 ……………… データなし。

亜急性毒性 ………… 慢性中毒ではヘモグロビンの減少のため、顔面皮膚が蒼白、血圧上昇、消化器及び腎臓傷害、頭痛、不眠、神経痛等を起こす。

がん原性 …………… アニリン塩酸塩を飼料に添加してＦｉｓｃｈｅｒ　３４４ラット（飼料中濃度０．３及び０．６％）及びＢ６Ｃ３Ｆ１マウス（０．６及び１．２％）に１０３週投与した実験では、マウスには催腫瘍性を見出せなかったが、ラットでは脾の血管肉腫、腺維肉腫及び体内各所の腺維肉腫などが発生し、催腫瘍性ありと判断された。

変異原性 …………… アニリンのＡｍｅｓ試験は陰性である。チャイニーズハムスター培養細胞を用いた染色体異常試験であるが、Ｓ９添加でアニリン１．０、２．０ｍｇ／ｍｌ添加時に陽性という報告もある。

生殖毒性 …………… データなし。

催奇形性 …………… データなし。

---

12. 環境影響情報

分解性 ……………… アニリンに関し、化審法の既存化学物質安全点検の結果では、分解性が良いと分類されている。

蓄積性 ……………… データなし。

魚毒性 ……………… ミジンコ　３時間　半数致死濃度（アニリン）９８０ｐｐｍ
ヒメダカ　７２時間　半数致死濃度（アニリン）１２０ｐｐｍ

---

13. 廃棄上の注意

…………………… スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。もしくは都道府県知事の許可をうけた産業廃棄物処理業者に委託する。

---

14. 輸送上の注意

…………………… 運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。火気注意。空気、光を遮る。その他、毒劇法などの法令の定めるところに従う。

---

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 …… 劇物

航空法 ……………… 毒物類・毒物

船舶安全法 ………… 毒物類・毒物

外国為替、外国貿易法 ‥ 輸出貿易管理令別表第１の１６の項

---

16. その他の情報

【参考文献】

（社）日本化学会編　防災指針による分類
公害と毒・危険物　堀口博　著　　　三共
K.H.Jacobson,Toxicol.Appl.Pharmacol.22,153（1972）
環境化学物質要覧　環境庁環境化学物質研究会編　　　丸善
National Cancer Institute:Carcinogenesis Technical Report Series NO.130（1978）
化学品法規制検索システム　　　　　　　日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS　　　　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。